

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年 6月12日（水）

### 2 確認箇所

G3北タンクエリア、G3東タンクエリア

### 3 確認項目

タンクエリア内堰配管貫通部の状況

### 4 確認結果の概要

一部のタンクエリアには、内堰を配管が貫通している箇所があり、東京電力では、定例点検により配管貫通部の止水の健全性を確認している。今回、G3北タンクエリアとG3東タンクエリアにおける内堰の配管貫通部の現況を確認した。

- ・G3北タンクエリア及びG3東タンクエリアには溶接型タンクが設置されており、両タンクエリアとも内堰は旧内堰（コンクリート堰＋鋼製堰）とコンクリート堰の二重になっていた。（写真1）
- ・両タンクエリアには、旧内堰を多核種除去設備処理水の移送配管が貫通している箇所や現在は使用されていない閉止措置された配管が貫通している箇所が十数箇所あったが、貫通部の止水性に不具合が認められる箇所はなかった。（写真2）



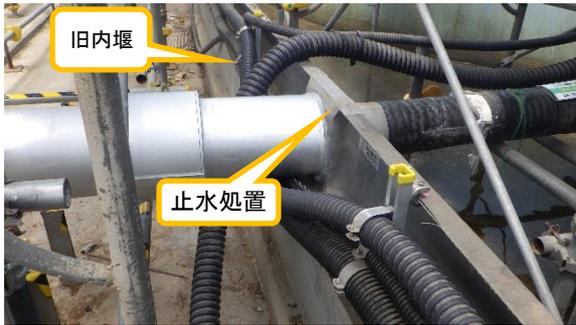
(写真1-1)

G3北タンクエリア外観



(写真1-2)

G3北タンクエリアの内堰の状況



(写真 2 - 1)  
多核種除去設備処理水移送配管が  
旧内堰を貫通している箇所の例  
(G 3 北タンクエリア南側)



(写真 2 - 2)  
閉止措置された配管が旧内堰を貫  
通している箇所の例  
(G 3 東タンクエリア東側)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。